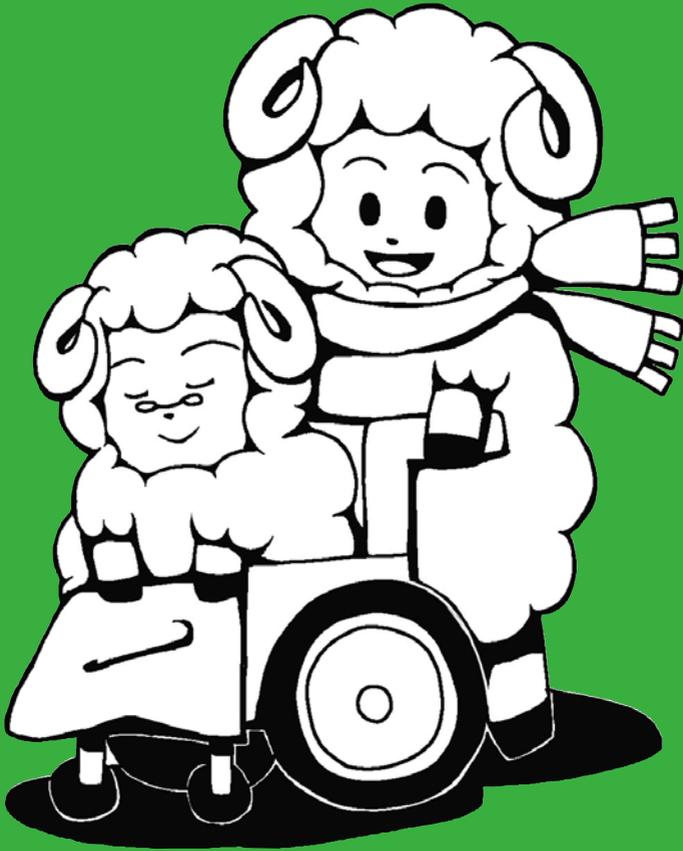


2015年度

# 西南学院大学 ボランティアガイドブック

Seinan Gakuin University Volunteer Guidebook



西南学院大学  
ボランティアセンター

# 目 次

## はじめに

センター長挨拶	1
ボランティアセンター（通称：ボラセン）とは？	2
ボランティアって、なんだろう？	3
ボランティア活動について（相談～活動までの流れ）	4
学生ボランティア登録について	5
ボランティア活動の心構え	

## ボランティア活動

①ちよこボラ（ちよこっとボランティア）	6
②東日本大震災ボランティア	9
③学生サポーター	13
④国内ボランティア	
①久山療育園	14
②ボランティア講座〈ノートテイク講座〉ほか	
⑤海外ボランティア	15
⑥他機関連携	16
⑦学内ボランティア	18
①学内合同募集説明会	
②学生ボランティア団体合同説明会	
③西南子どもプラザ	
④聖書植物園	
⑤防犯ボランティア隊 Green Angel	
⑧学外ボランティア	20
⑨学生ボランティア団体助成	22

## 学生グループ活動（サークル紹介）

(1) OPEN	23
(2) いと	23
(3) Mits	24
(4) Think & Act	24
(5) 西南FIWC九州	25
(6) のびこの会	25
(7) 学生YM(W)CA	26
(8) 西南ラブ・グリーン	26
(9) ワークキャンプ部	27
(10) 手話サークル とびうめ	27
(11) ノートテイクサークル	28

## そ の 他

印刷機・紙折機・裁断機の使用（無料）について	29
活動室利用について	
社会福祉協議会（社協）	30
2014年度ボランティアセンター活動記録	31

## はじめに



ボランティアセンター長 石森 久広

西南学院大学にご入学おめでとうございます。皆様のご入学を心からお祝いし、歓迎いたします。これから始まる学生生活、友との出会い、師との出会い、学問との出会いの中で、豊かな時間を過ごしてください。

本学では、ボランティア活動を建学の精神である「西南よ、キリストに忠実なれ」の具現化並びに大学の社会貢献の一つと位置づけ、学生・教職員等によるボランティア活動を支援・推進する部署としてボランティアセンターがあります。ボランティアセンターは、さまざまなボランティアの情報を提供し、皆さんの相談に応じています。お弁当容器やペットボトルキャップ、古本や古切手などを提供する身近なボランティアから、学生サポーターで地域の小・中学校で活動するボランティアや重度障害児者施設の久山療育園でのボランティアもあります。

また、昨年度は、東日本大震災ボランティアとして被災地に16チーム・87名の学生・教職員を派遣し、帰福後も街頭募金活動やチャリティコンサートなどの活動を福岡で展開しています。さらに、海外に目を向けると、フィリピンへ派遣する海外ボランティア・ワークキャンプが2003年度から実施されており、昨年度は17名の学生・教職員を派遣しました。参加した学生たちは、帰国後、ペットボトルキャップ回収で活動を続けています。他にもガイドブックで紹介しているボランティア活動のサークルもあり、皆さんの参加を心待ちにしています。学内だけでなく、学外からのボランティア依頼にも対応しています。

ボランティアは、子ども・高齢者・地域・環境・国際交流など、幅広い分野で展開されています。大学在学中にボランティア活動をすることで、同年齢だけでなく、乳児から高齢者まで、多くの幅広い年齢の方々や仲間と出会い、社会・地域・施設・行政・企業などとの出会いがあり、視野が広がることでしょう。自分に合う活動を見つけることで、自分自身をみつめる良い機会となり、自分の新たな一面と出会うかもしれません。

ぜひ、大学入学を機会にボランティア活動を始めてみてください。ボランティアセンターは、皆さんをいつも応援しています。

## ボランティアセンター（通称：ボラセン）とは？

ボランティアセンターは、ボランティア活動を建学の精神の具現化並びに大学の社会貢献の一つと位置付け、学生、教職員等によるボランティア活動を支援・促進することを目的としています。センター内には、職員が常勤していますので、ボランティアをするのが初めての方や迷っている方など、どなたでもお気軽にご相談ください。

【場 所】 ボランティアセンター事務室：1号館 2階 エレベーター横  
TEL 092-823-3662 FAX 092-823-3335

E-mail：swvoc@seinan-gu.ac.jp

【開館日】 通常期間 月～金 9:00～17:00  
(長期休暇中や行事などで閉室する場合があります。)

【休館日】 土曜日、日曜日、国民の祝日、学院創立記念日、クリスマス、  
年末年始、その他大学が特に定める日

【サポート】 ボランティア活動に関する相談、情報交換会の開催、  
ボランティア情報・関連する講演会やイベント情報の発信、  
ボランティアグループとの懇談会



### 【ボラセンが企画するボランティア】

- ・東日本大震災ボランティア
- ・海外ボランティア・ワークキャンプ
- ・学生サポーター
- ・他機関との連携
- ・久山療育園ボランティア
- ・緊急災害ボランティア
- ・ストプロ★寄付本プロジェクト
- ・その他

### 【学内外からの主な依頼】

- ・西南子どもプラザ
- ・聖書植物園
- ・防犯ボランティア隊 Green Angel
- ・イベントのお手伝い(障がい者施設・高齢者施設・学内など)
- ・街頭募金活動
- ・リサイクル、ゴミ拾い
- ・地域活性化活動(商店街など)
- ・その他

### ボラセンからメッセージ

ボラセンのスタッフは、アドバイスするだけでなく、皆さんと一緒にボランティアや活動について、考えていきたいと思っています。まずは、いつでも気軽にたずねてきてください。皆さんとお話できるのを楽しみに待っています！



## ボランティアって、なんだろう？

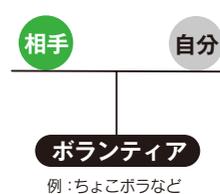
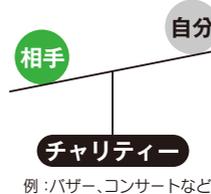
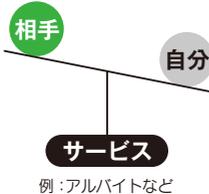
高齢者や障がい者、困ってる人の手助け？善意あるお手伝い？  
どれも大事なことだけど、専門知識もないし、何だかすごいこと  
ようで、想像すればするほど、難しそう・・・  
なんて思っている人は多いのではないのでしょうか。

それでは、今までにこんな経験はありませんか？  
バスの中で自分の席の前にお年寄りが・・・  
『席をゆずろうかな、どうしようかなあ・・・』と  
ソワソワした経験。  
荷物を沢山抱えた人がドアの前で困っている・・・  
『扉を開けてあげよう！』と駆け出した経験。



“ほっとけない”“あの人の為に何かしたい・・・”そんな、くすぐったいような、もどかしい  
ような、モヤモヤした感覚。それこそが、ボランティアの種。皆さんの心にそっと芽生える  
“ボランティアの種”を大事にして、育て、勇気を出して一歩前へ踏み出してみましょう。  
“誰かのために”歩みだしたことが、結局は“自分にも何か与えられている”その2つが同時  
に起こる素敵なことが「ボランティア」なのです。

### イメージしてみよう！



### ボランティア活動の4つの原則

#### 自発性・自主性

義務や強制ではなく、“やりたい”と自分の意志で行う活動。自分の気持ちで活動として表現するので、人の心に働きかける力を持っている。

#### 無償性・非営利性

金銭的な報酬を期待するものではなく、自己満足することを目的としてはいけない。しかし、お金では得ることができない達成感や感動、仲間との共感、新たな出会い、発見を得ることができる活動。

#### 先駆性・創造性

今ある仕組みや発想にとらわれず、何が必要とされているのかを考えて、新しく創り出し、新しい仕組みやサービスを生み出すことができる活動。

#### 社会性・公益性

多くの人と出会い、支え合い、学び合う活動。

## ボランティア活動について（相談～活動までの流れ）

### ①ボラセンに行ってみよう！ （1号館2階エレベーター横）

ほとんどの人が、大学生になって初めてボランティアをしています。ボラセンでは、初めての人を対象に講座なども開催しているので、自分に合う活動や講座を一緒に探しましょう。



※ボランティア登録をしよう！  
（5ページ参照）



### ②自分にあうボランティア活動に参加してみよう！

参加したい活動が見つかったら、各自で団体に申し込みましょう。いよいよ、ボランティア活動の始まりです。申込んだ後は、各自で大学生としての自覚と責任をもって参加し、急に参加できなくなった場合も、必ず自分でお詫びの連絡をしましょう。困ったことが起きたら、ボラセンへ相談してくださいね。

### ③ボランティア活動について報告しよう！

活動が終了したら、ボラセンまで体験談をお寄せください。皆さんの体験談が、次にボランティアをする方への情報源として活用されます。



## 学生ボランティア登録について

ボラセンには、学内外から様々なボランティアの依頼があります。これらの依頼内容は、ポータルにアップしたり、ボラセンの掲示板に掲示しています。なお、ボランティア登録をされた方には、定期的にボランティア情報をメール配信しています。ぜひ、次の方法で登録をしてください。

※ボランティア登録は、年間を通して受付をしています。  
(登録料・会費などは、一切かかりません。)

### 【登録方法】

E-mail [swvoc-vol@seinan-gu.ac.jp](mailto:swvoc-vol@seinan-gu.ac.jp) 宛に  
タイトル 「ボランティア登録」  
本文に ①在学番号 ②氏名  
をご記入の上、送信してください。  
※メールは、在学番号のアドレスへ配信いたします。



《ボラセンのHPからも登録できます。》

## ボランティア活動の心構え

### 1、無理せず、背伸びせず、楽しく継続

ふだんの暮らしに支障が出る活動は、長続きしません。自分の出来ることだけでなく、出来ないことについても活動先には伝え、自分に合った活動を選びボランティア活動を楽しみましょう。

### 2、最低限のマナーは守る

小さなことでも、活動先との約束は必ず守りましょう。特に時間厳守を意識し、遅刻や欠席の場合は、必ず各自で責任を持って活動先に連絡してください。突然、連絡が途絶えると、活動先は困ります！最後まで「西南学院大学の学生」である自覚をもって、行動しましょう。

### 3、身だしなみの確認

申込みの際、活動中の服装についても事前に確認し、特に、必要以上のアクセサリーは外して活動しましょう。活動前にもう一度、自分の身だしなみをチェックするよう心がけましょう。

### 4、秘密厳守（個人情報）

活動を通して知り得た個人情報は口外してはいけません。逆に、自分の連絡先も活動先の担当者以外に、みだりに教えてはいけません。また、安易に写真を撮ることは控え、活動先の許可を得てから撮影しましょう。

### 5、お互い気持ちよく、信頼関係を築こう

様々な思いの人たちが、いろいろな役割で関わっています。相手を尊重し、協力しながら、コミュニケーションを深め、信頼関係を築いていきましょう。



## ボランティア活動

### ① ちょこボラ（ちょこっとボランティア）

今すぐ始められ、身近なところから自分のできることを無理なく楽しくマイペースにお手伝いできる「ちょこボラ」をご紹介します。

#### (1) 東北を応援するボランティア

##### ① 東日本大震災義援金

東日本大震災復興支援の義援金を送ろう！

本学では、震災発生直後から義援金を募って被災地へ届けています。

日本パブテスト連盟の被災者救援募金 ほか

※寄付金控除の対象外です。

【口座】 西日本シティ銀行西新町支店  
普通 1569416  
「学校法人西南学院義援金口」

※各銀行本・支店窓口（ATMを除く）から振り込む場合は、振込手数料は不要です。



##### ② 「福島へ西南水を届けよう！」プロジェクト

福島へ西南水を届けよう！

福島に西南水を届ける募金を展開しています。学院創立100周年を記念して作られた「SEINAN SUI（西南水）」は、1本100円（税込）です。あなたの100円で、西南水1本を届けることができます！

西南水は、購入するだけでも売上金の一部が、東日本大震災の復興支援に充てられます。

【方 法】募金箱に募金をする。

【設置場所】募金箱；ボランティアセンター・大学生協

販売先；大学生協、クロスプラザ・キャンパス内自動販売機など



### ③お弁当容器の回収（義援金に協力できます）

お弁当容器を回収し、被災地に義援金を届けよう！

リリパック回収による払戻金が東日本大震災の被災地へ送る義援金になります。お弁当を食べ終わったら、赤い（もしくは黒い）フィルムをはがし、白い本体のみを回収ボックスへ！割れても大丈夫です！  
弁当容器1個が10円の義援金として募金されます。

※生協、すずらんで販売されているお弁当のみ

#### 【回収ボックス設置場所】

- 1号館：2・3階エレベーターホール、
- 2号館：学生ホール、2階廊下、
- 学術研究所1階ロビー、西南クロスプラザ1階、
- 西南会館…生協食堂、西棟1階ラウンジ



### ④手芸用品の回収

東日本大震災ボランティア活動で訪れる仮設住宅の皆様へ送るための手芸用品を集めています。お寄せいただいた手芸用品が、すてきな作品に生まれ変わります。仮設住宅の皆さんの作品は、バザーなどで販売しています。

【回収ボックス設置場所】ボランティアセンター

【回収品】布、毛糸、ボタン、針、はさみなど



### ⑤メッセージカードを贈る

東北の仮設住宅の皆様宛に、メッセージカードやクリスマスカード（メッセージ入り）を集めて届けています。お寄せいただいた温かいメッセージは、被災地の方へお届けいたします。

【配布場所】ボランティアセンター



## (2) ペットボトルキャップの回収

ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを届けよう！

飲み終わったペットボトルのキャップは、回収ボックスへ！

ペットボトルキャップ約2000個のリサイクル対価が、一人分のポリオワクチン（約20円）に相当します。

※リサイクル対価は市況によって変わる場合があります。

### 【回収ボックス設置場所】

本館、1号館2階入口、1号館3・4・5階の休憩室、2号館2・3・4階、4号館1階、西南会館、体育館前、生協食堂、クロスプラザ、2号館学生ラウンジほか



## (3) ストプロ寄付本★プロジェクト

自宅で眠っている不要本を寄付して、路上で迷う若者たちを救いませんか？

親元で暮らせない子どもたち、不登校になった子どもたちに、高卒認定資格のための学習無料塾や就労のためのスキルアップ、居場所を提供する活動を行っている「一般社団法人ストリート・プロジェクト（略称ストプロ）」という団体があります。不要となった古本などを寄付し、売却代金をストプロへ寄付するプロジェクトです！

### 【回収ボックス設置場所】

学術研究所各階ロビー、法科大学院事務室内、

1号館2階ボランティアセンター

※業者の回収は、原則、第1・第3火曜日に回収します！

《対象となるもの》

専門書～趣味の本までOK・書込みされた本もOK

CD・DVD・ゲームソフト

《対象とならないもの》

(書籍)百科事典・同人誌・新聞・個人出版の本・復刻マンガ

(CD/DVD)ケースがない・サンプル・規格品番なし



## (4) その他（古切手・書き損じハガキ）

使用済み切手、書き損じハガキなどを福祉活動や発展途上国の支援活動に役立てよう！

①古切手（使用済み切手）

封筒やハガキに貼ってある切手を、消印のスタンプ切手周囲1cmを残して切り取り、回収ボックスへ！

②書き損じハガキ

年賀状や通常ハガキで、ミスプリントしてしまったものなど、回収ボックスへ！

### 【回収ボックス設置場所】

ボラセン前の備え付け回収ボックス



## ② 東日本大震災ボランティア

2011年3月11日14時46分18秒に起きた東日本大震災は、東北地方を中心として広域に渡って甚大な被害をもたらし、完全に復興するまでには、まだまだ時間がかかります。本学からも学生や教職員を派遣し、ボランティア活動を行っています。

2011年度 派遣  
9チーム 102名

2012年度 派遣  
10チーム 116名

2013年度 派遣  
16チーム 133名

2014年度 派遣  
16チーム 87名

派遣の形態は、次の5種類があります。(※日数や活動、金額等は変更になる場合があります)

### (1) 日本パプテスト連盟を通じた活動

2011年9月から、毎年実施している活動。岩手県や宮城県の教会が毎月仮設住宅を支援している活動の中で、一緒に活動する。

仮設住宅：(岩手県)大槌町

(宮城県)石巻市牡鹿半島・亘理町・山元町

参加費用：20,000円(2014年度実績)

形態：1チーム13名(学生11名・引率2名)



#### 人間科学部 心理学科 星野友里恵

(博多なでしこチーム：岩手県で活動)

現地の方々は、笑顔の素敵な方々ばかりで、暖かく私達を迎えてくれました。しかし、お話しを聞くと辛い思いをしてきた方ばかりでした。元気を与えに行こうと思っていた私が、逆に元気を与えられました。改めて、ボランティアはしてあげるものではないという事に気づきました。約四年間の間に少しずつ、心の傷が癒えている方もいますが、まだ家族と離れたままで寂しい思いをしてる方もいますし、仮設住宅も沢山ありました。私達に今出来ることは、この活動を続けていくことだと思います。途切れさせないように、頑張っていこうと思います。

#### 人間科学部 社会福祉学科 古賀寛隆

(STAND UP チーム：宮城県で活動)

実際に自分の目で見て、肌で感じることはメディアを通して見えるものとは大きく違います。被災地の状況は様々で、震災当時の面影を残しています。また、被災された方々の「心の復興」はまだまだです。だからこそ現地に足を運び、現地の方々と共に活動し交流することが支援になるのだと感じました。「ボランティアってなんだろう?」と一歩踏み出すことをためらっているならばぜひその一歩を踏み出してほしいです。多くの出会いと発見がきっとかけがえないものになるはずです。

## (2) 大学間連携災害ボランティアネットワーク (事務局：東北学院大学)

2011年9月から、毎年実施している活動。全国96の大学が連携してネットワークを築いており、全国から集まった学生たちと一緒に活動する。活動内容は、多岐にわたり、毎年、異なる。

切符の手配などは、個人で行う。引率はなし。活動終了後、一定の手続きを経て、交通費実費相当額(上限：25,000円)を支給する。(2014年度実績)

## (3) 復興支援インターン (事務局：復興大学・東北学院大学、共催：復興庁)

2013年から、夏と春に、毎年2回実施。東北の企業にインターンし、企業の復興を通して、東北の現状や課題を学ぶ。復興への経営者の想いを直接聞き、社員の方々と直接話すことができる。帰復後、大学で情報発信し、企業を応援するプログラム。

切符の手配などは、個人で行う。引率はなし。活動終了後、一定の手続きを経て、交通費実費相当額(上限：25,000円)を支給する。(2014年度実績)

## (4) 学部やゼミ単位での活動

学部やゼミ単位で、企画され認められた活動。一定の手続きを経て、交通費補助を実施する。

## (5) その他

福岡県主催の災害ボランティア養成講座など、連携先との事業により派遣する。



### 神学部 神学科 吉田尚志

(神学部派遣：宮城県で活動)

私は宮城県仙台長命ヶ丘教会の支援活動に参加させていただきました。仮設住宅では、震災当初に比べて世帯数は半数に減りましたが、新しい生活の始まる方々がいる一方で、未だに留まらざるを得ない状況の方々がいることの現実も目の当たりにしました。その両者の方々の心は未だ癒やされてはいないのです。復興という名のもとに改善されていく街並みと人々の満たし得ない心。葛藤に揺れ動き続ける被災地での状況を垣間見ました。

### 人間科学部 児童教育学科 大塚未来

(人間科学部派遣：宮城県で活動)

東北をおとずれるにあたり、1人でも、仲間とも、自分たちの活動の意味について問い続け、たくさん悩みました。(そしてその答えは見つからないままです。)ですが、実際に東北を訪れて、確かに東北に思いを寄せることが増え、東北のみなさんのことを思い返さない日はなくなりました。気がつけば被災地だった東北はすぐ自分の中にふるさとのように、かけがえない場所になっていました。今はただ、その答えを見つける為に、何度でも東北に、東北のみなさんの笑顔に出会いたいです。

## 帰福後の活動

学生たちは、実際に被災地の状況を見て、感じ、被災地の皆さんと交流し、活動する中で、さまざまな想いを抱いて帰ってきました。学生たち一人ひとりの活動は「点」にすぎないけれど、みんなの「点」を集めれば「線」になるということを信じて活動してきました。

学生たちは、東北の活動だけで終わらず、福岡でできることを考え、発信しています。

福岡での復興支援活動は、まだ東北に行ったことがない学生も参加できます。イベント当日のみの参加も可能です。まずは、自分でできることを考え、福岡で自分の「点」を残してみませんか？詳細はボラセンにお問い合わせください。

## 2014年度実績

### (1) 東日本大震災ボランティア報告会 (5月19日 : 11月20日)

2014年度東日本大震災ボランティアで活動した学生たちがチーム毎に発表しました。

春の報告会では、福岡県連携事業から派遣された学生たちも一緒加わりました。

先輩たちから後輩たちへ、一人ひとりの「点」が、つながって「線」になっていることを実感しました。



### (2) 活動報告

大学チャペルや中学チャペルで講話（活動報告）を担当しました。また、鳥飼教会と姪浜教会でも報告しました。

### (3) パネル展示 (1月23日～2月2日)

#### 「震災を忘れない！」学内パネル展

東北の現状をパネルに作成して展示し、情報発信しました。



#### 国際文化学部 国際文化学科 田中美希

(東北学院大学へ派遣 : 陸前高田で活動)

私は気仙沼、陸前高田に行き「人の繋がり」を強く感じました。被災地で自分たちができることは微量かもしれませんが、必ず活動以上のものを得ることができます。漁港や復興支援団体や被災地の方、そして1週間苦楽を共にした仲間。この「人の繋がり」は私にとってかけがえのない財産となりました。震災から4年経った現在でも、復興への課題は多く残っています。きっかけは何でも良いと思います。ぜひ一度東北の地に足を運んでみてはいかがでしょうか？

#### 法学部 法律学科 市原慎也

(復興支援インターン : 石巻女川で活動)

私は前年ボランティアに行き、翌年インターンシップに行きましたが、全く違った視点を持つことができました。私が訪れた石巻市は水産業が全国的に有名ですが放射能汚染の風評被害により、特に大阪・福岡の取引が減少しています。被災地の問題は、実は日本全体の問題でもあることを私は全く知りませんでした。幸いなことに、インターン先の企業に内定を頂き、2015年度から働きます。活動をすることで僕の人生が変わりました。一味違った就職活動を始めてみてはいかがでしょうか。東北でお待ちしております。

#### (4)第2回東日本大震災復興支援チャリティコンサート(6月28日)

卒業生と在校生が一体となって、東北に想いを寄せて、コンサートを開催しました。ロビーでは、パネル展示や仮設住宅の方々が作られた小物を販売したり、「大切に使うね!フォト!」や「東北へしおりを贈ろう」プロジェクトを展開し、東北へのメッセージを集めました。

第1回目のコンサートを立ち上げた先輩たちも駆けつけてくれました。



#### (5)大学祭にて模擬店出店(11月13日~16日)

夏にインターンでお世話になった宮城県気仙沼の企業から材料を仕入れ、サンマの塩焼き、ホタテのバター焼き・イカ焼き・メカブスープを販売しました。また、仮設住宅の方々で作られた小物を販売し、純利益は東日本大震災義援金に募金しました。模擬店ではパネル展示も行い、東北の現状を発信しました。



#### (6)はるかのみまわり

阪神・淡路大震災ゆかりの「はるかのみまわり」絆プロジェクトに参加し、キャンパスに「ひまわり」の種を植えました。2012年度震災ボランティアに参加した先輩たちが宮城県門脇小学校から持ち帰った種でした。毎年、ひまわりを育てることを通して、阪神・淡路大震災、東日本大震災のことを忘れずに、命の大切さについても語り続けていきます。



#### (7)その他(東北へ想いを届ける!)

毎年、メッセージカードやクリスマスカードに手書きのメッセージを添えて送っています。手芸用品を届け、仮設住宅で可愛い小物の作品となったものを委託販売しています。また、「福島へ西南水を届ける!」募金や活動も展開しています。



### ③ 学生サポーター

福岡市教育委員会と連携し、福岡市内の学校・幼稚園の要望に応じて、各学校・園へ派遣するというプログラムで、派遣される学生を“学生サポーター”と呼んでいます。学生サポーターは、派遣先の各学校・園において主に、授業や学校行事の補助、クラブ活動の支援などのサポートをしています。社会人としての経験に加え、教育現場で児童生徒と直接接することで教育活動を体験できる良い機会となっています。教職を履修していない学生も参加できます。



※詳細はポータルや、説明会で確認してください。

4月下旬に説明会を開催する予定です。年間を通して、相談に応じています。

#### 人間科学部 児童教育学科 楠本真弓

(幼稚園で活動)

私は2年生の後期から幼稚園で学生サポーターをしています。週に1回活動していますがとても楽しく、「次はいつ来るの」と言ってくれたり、授業の為に途中で抜ける際は「まだいたら」と言ってくれる子供もいて来週も絶対に幼稚園に行こうという気持ちになります。また、学サポで学んだ子供の姿を授業に生かすことも出来ました。活動を通して将来幼稚園の先生になりたいという思いがさらに強くなりました。

今後も活動を続けていきたいです。



#### 法学部 法律学科 工藤祐紀

(小学校で活動)

私は教員を志していたわけではなく、法律家を目指すうえで子供と接する機会があると知りその経験になればといった目的で参加しました。週に1回の数時間ですが、小学2年生のクラスで活動しました。担任の先生は、一人ひとりの個性や意見を尊重しながら、クラスをまとめておられ、放課後には、その日の出来事の対応と理由を教えてください、とても貴重な経験ができました。低学年なので、生徒から積極的話しかけてくれ、当初の目的もしっかり果たすことができました。普段、接することのない教育現場で実際に活動とのできるこのボランティアは、すごくオススメです。2月に実施された報告会にも参加しました。



## ④ 国内ボランティア

### ① 久山療育園

久山療育園重症児者医療療育センターは、西南学院と同じ日本バプテスト連盟の関連施設で、重度の知的・身体障害を重複する障がい者に対して、医療・看護・機能訓練・保育などを行っています。重症心身障がい者が社会の片隅に収容されて生きるのではなく、むしろ地域の中心に位置づけられることを願って設立された施設です。本学では、定期的に交流し、ボランティア派遣や講習会、チャリティコンサートなどを開催します。  
※詳細はポータルで案内します。



法学部 法律学科 山岡賢史

今回大学に入って、初めてボランティアに参加させていただいて、始めはどのような活動なのか不安もありました。しかし、周りの方々に教えられ、協力しながら、とても充実した時間を過ごすことができました。人と人との協力の必要性が分かりました。世の中には様々な種類のボランティアがあり、人の手を必要としているので、是非いろいろなボランティアに参加をする事をオススメします！  
自分の経験値の幅が広がると思います！



### ② ボランティア講座〈ノートテイク講座〉ほか

特定非営利活動法人障がい者相互支援センターMCPの方をお招きし、ノートテイク6時間講座を開催しました。

※ノートテイク・・・聴覚障がいを持つ学生の耳の代わりとなり、授業などその場の「音」を「文字」にして視覚的に伝えるという支援の方法です。

国際文化学部 国際文化学科 西田美咲樹

私は、将来中学社会科の教師を目指しています。聴覚障がいをもった生徒に出会ったときに今回の講座が役立つことがあるかもしれないと思い参加しました。「聞こえない世界」とはどういうものかをゲームを通して体験したり「情報保障」という考え方、ノートテイクの技術について学び実践しました。手話や文字が話し言葉とはまた違った立派な言語の一種であることを感じました。新しい人たちの出会いもあり、楽しい雰囲気の中で自分にとって新しい知識を学ぶことが出来ました。



## ⑤ 海外ボランティア

### 海外ボランティア・ワークキャンプ

2003年度から、毎年フィリピンでワークキャンプを実施しています。日本・フィリピン国際飢餓対策機構の協力のもと、同じアジアの中で違う「アジア」を体験し、地元の人たちとの交流や貧困地域での奉仕活動を行い、ボランティアマインドを涵養することを目的に活動しています。



1. 活動期間：2月～3月の12日間
2. 活動場所：フィリピンマニラ郊外
3. 活動内容：貧困地域での奉仕活動、地元の人たちとの交流  
小学校訪問、家屋修理や校舎の建築などのワーク
4. 募集方法：ポータルにて案内（説明会有）
5. 募集人数：約15名



#### 法学部 国際関係法学科 池田彩夏

私たちの当たり前な生活がなかった、タワービルで生活をしたことで、日本に帰ってからは、なにげない日常のひとつひとつに感謝する気持ちが生まれました。「感謝の反対は当たり前」このワークキャンプで学んだ言葉です。ワークを終え、涙を流しながら「ありがとう」といわれた、あの時の気持ちは私の心に深く残っています。タワービルでの生活は、1日1日が密度が濃く、貴重な体験の連続でした。私にとってかけがえのない、一生の財産になりました。

#### 法学部 国際関係法学科 鋼物千夏

私たちはボランティアに行ったのに、私たちが現地の人々の笑顔に元気を貰いました。彼らには私たちにはないものをたくさん持っています。そして、ボランティアはするものではなくて、させて頂くものだと感じました。そして、今暮らしている毎日は当たり前でないということに気づけました。このフィリピンでの体験は私の人生を豊かにしてくれました。是非実際に行って、自分で感じてみてください。

#### 法学部 国際関係法学科 坂井佑麻

ボランティアは、高校の教室の建築手伝いや、地域の家の修理、改装を行ったりします。力仕事も多いですが、みんなで協力して作業するので力に自信がない人でも楽しく作業することができます。また、このプログラムはボランティアだけでなく、地域の人々や学校での異文化交流を行ったり、現地の方の家に訪問したり、普通の旅行では味わえない経験ができます。英語が喋れなくても大丈夫です！心が豊かになり、自分自身のこれからの人生に大きく影響を与えてくれたプログラムです。

#### 人間科学部 社会福祉学科 後藤英次郎

もともと海外ボランティアに興味がありワークキャンプに参加しました。話で聞くのと、実際に行き自分の目で見て、肌で感じるのでは大違い。現状を知ることは大事。それらを伝え、今後の糧にするのはもっと大事。この世界への一歩の経験が考え方・生き方に大きな刺激を与えてくれます。海外ボランティアに行くことで視野が広がり、さらに日本の現状にも気づき、きっと充実した時間になるでしょう。興味を持った方、今すぐボランティアセンターへ！

## ⑥ 他機関連携 ※ 2014 年度実施

### ① 大学生災害ボランティアサポーター養成講座

福岡県が主催する大学生災害ボランティアサポーター養成講座を本学も連携して実施しました。基礎研修、専門研修を実施後、被災地へ派遣ボランティアとして活動しました。



文学部 英文学科 前澤里奈

講師の方々が座学とワークショップを通し、災害ボランティアに関する基礎から実践まで教えて下さるので、何度か東日本大震災の復興支援ボランティアに関わっている私も改めて多くのことを学びました。災害ボランティアを学ぶ良いきっかけとなると思うので、ぜひ受講してみてください。

### ② 広島災害派遣

2014年8月20日に発生した広島豪雨災害。大学生災害ボランティアサポーター養成講座の受講生を中心に、福岡県から派遣され、安佐北区ボランティアセンターで活動しました。



人間科学部 児童教育学科 松尾遼太郎

広島での災害ボランティアに参加して、実際の災害現場へ行き、自分の目で見たり聞いたりしたことは、メディアを通しただけではわからない貴重な体験だと思いました。ただ参加するのではなく、次に同じような災害が起きた時にどうするかを今回の経験を元に考え、行動することが大切だと感じました。

### ③ 災害ボランティア実践講座

福岡市社会福祉協議会と連携し、本学にて、災害ボランティア実践講座を開催しました。学生、卒業生、行政、地域、各団体から約80名の方が集まり、午前中の講義のあと、午後は、災害ボランティアセンターのサテライト設置におけるシミュレーションを行いました。



#### ④ NGO 交流会（FUNN 団体説明会）

団体毎にブースを設置し、団体の活動紹介、スタディツアーやワークキャンプの紹介、NGO入門講座など、福岡のNGO活動について、一度に話を聞くことのできる貴重な機会となりました。



6月と1月に2回実施しました。2013年度に説明会に参加して活動した学生が2014年度には説明する側に立ち、学生たちが継続してつながりを広げています。

※FUNN：国際協力や交流を推進することを目的とした福岡地区NGOネットワーク組織

経済学部 経済学科 阿部恵三奈

私は、ボランティアをしたいという思いでNGO合同説明会に参加しました。多くの団体があり、様々なボランティアについて知ることができました。今では、そこで出会った団体に関わり、ボランティアで出会った人々との繋がりもあります。是非説明会に足を運び、自分に合ったボランティアを見つけてみてください。

#### ⑤ NGO 交流会（カンボジア地雷撤去キャンペーン：カンボジアから来日）

ミス地雷被害者コンテストで優勝したことをきっかけに、大学に通う傍ら、地雷被害をなくすための活動をしているドス・ソピアップ氏を招いて、講演会を開催しました。



法学部 法律学科 三満千賀

夏のスタディツアーでの活動を経て、カンボジアや地雷のことを多くの人に知ってほしいという思いで、私たちと同世代の地雷被害者・ソピアップさんに講演していただきました。感謝の気持ちを忘れずに、生活していきたいと思いました。

※一般財団法人地雷撤去キャンペーン（CMC）

カンボジアにおける「地雷撤去支援」「地雷被害者支援」「地雷原での学校建設」「現地ラジオ番組の制作・放送」に取り組んでいる団体

#### ⑥ ふくおか学生ボランティアミーティング（あすみん）

地域社会で社会貢献活動ができる学生ボランティアを育成する第一歩として、参加学生間のネットワークづくりを行う交流の場であり、「人と出会う」「地域と出会う」「やりたいことに出会う」をテーマに「出会い」の講座を開催しました。地域・行政・NPO関係者・他大学の学生など、幅広い方々が参加しました。



※あすみん：「明日（あす）の市民（しみん）」の思いを込めた公設民営のサポートセンター

文学部 外国語学科英語専攻 案浦円佳

私は海外でのボランティア経験から、帰国後も自分に何かできることがないかと思い、ミーティングに参加させていただきました。各ボランティア団体の代表の方の話や他大学の人たちとの交流を通して、自分のボランティアに関する知識を深め、活動の幅を広げることができました。皆さんも是非参加してみてください！

## ⑦ 学内ボランティア

### ① 学内合同募集説明会（2014年度実績）

大学内の各部署では、学生の皆さんに協力していただき、一緒に作り上げるさまざまなイベントや業務があります。各部署の募集するボランティアの合同説明会を実施しました。学内のボランティアでも、たくさんの学生たちが活動しています。

#### 参加部署

入 試 課：オープンキャンパスなど

広 報 課：Spirit（広報誌）特集意見交換など

エクステンション課：西南子どもプラザ スタッフ補助

国際センター：留学生サポーター・ウェルカムスタッフ

日本語学習チューター

100周年事業推進室：西南ドリームチーム（仮称）学生募集

ボランティアセンター：ボランティア活動全般

内 容：各部署のボランティア募集内容、申込み時期及び方法、ボランティア登録など



### ② 学生ボランティア団体合同説明会（2014年度実績）

学生ボランティア団体が合同で説明会を実施しました。ボランティアをしたい! 何か楽しいことをしたい! ボランティアに興味がある人! どんなボランティアをしたいか悩んでいる人! たくさんの人と話してみたい人! 一人ひとりが、団体や活動とつながっていきます。



### ③ 西南子どもプラザ

本学の学生で、ボランティアや西南子どもプラザに興味のある方であれば、経験、専門は問いません。クラブ・サークル単位での参加も歓迎します。

対 象：本学学生

活動時間：10:00～17:00の都合の良い時間（日曜除く）

場 所：西南子どもプラザ

活動内容：来館した親子と遊ぶ  
おもちゃの制作や消毒  
行事の手伝い  
外国人親子との会話の手助け 等

申込み方法：問合せ先へ連絡し、子どもプラザボランティアに登録する。（随時受付）

問合せ先：西南子どもプラザ 092-846-9207



### ④ 聖書植物園

大学では、聖書に登場する植物を集めた「聖書植物園」を管理運営しています。その植物園のメンテナンスに必要な草取り等の活動を行っています。

活 動 日：毎月 第3 土曜日 9:00～12:00

持 ち 物：軍手、帽子、タオル

参加方法：9:00 5号館前現地集合（小雨決行）  
（予約・申込なし。当日参加O.Kです!）

問合せ先：総 務 課 092-823-3201

夜間・休日 092-841-1316



### ⑤ 防犯ボランティア隊 Green Angel

「地域の安全は地域でまもる。大学の安全は大学でまもる」をモットーに、防犯パトロールや防犯キャンペーンに参加して、安全・安心な大学生活の実現を目指すボランティア団体です。

活 動 日：毎月 第1水曜日 15:30～

問合せ先：学生課 092-823-3837



## ⑧ 学外ボランティア

ボラセンには、学外のさまざまな団体からボランティアの依頼やイベント・スタディツアーなどの案内があります。例えば、イベントスタッフ、着ぐるみのボランティア、清掃、子ども会イベント補助、学習サポーター、福祉施設でのボランティアなど、さまざまな分野の情報がたくさんあります。実際に学生たちが活動している一部をご紹介します。まずは、ボラセンに来て探してみてください。

### ① 福岡市社会福祉協議会からの紹介

社会福祉協議会から、さまざまなボランティア募集が届きます。その中で、早良保健所からのエイズデー街頭キャンペーンにて、「サザエさん・マスオさん着ぐるみボランティア」がありました。



国際文化学部 国際文化学科 恒松さやか

西南学院大学では様々なボランティアに挑戦できます。私はその中から、サザエさんの着ぐるみを着て、エイズデーキャンペーンのボランティアに参加させて頂きました。着ぐるみでのボランティアはとても貴重な経験になりましたし、たくさんの方にエイズデーについて知って頂けたことが嬉しかったです。

### ② 福岡県青少年アンビシャスからの紹介

本学は、福岡県青少年アンビシャス運動に加盟しています。小学校や公民館、イベントでの活動などがあります。今回、北筑後地域アンビシャス体験フェスティバルに参加しました。



人間科学部 心理学科 酒井春太郎

私は、ピザの作り方を子供達に教える役をしていました。子供目線で教えることは難しかったです。無事に終了して子供達と別れる時に、「ありがとう」と言われたりハイタッチをしたりと、お金以上のものをもらった気がしました。

### ③ カンボジアスタディツアー

ボラセンには、さまざまなNGO団体から、スタディツアーの案内が届きます。今回、夏休みに、一般社団法人カンボジア地雷撤去キャンペーンのカンボジアスタディツアーに参加しました。



国際文化学部 国際文化学科 小山友実

カンボジア・スタディツアーでは、地雷の恐ろしさや内戦によって引き起こされた悲劇を学び、平和であることの尊さを実感しました。また、学校交流を通して、子供たちの笑顔というものは万国共通なのだ改めて思いました。直接見て、感じる事ができたことに感謝しています。

#### ④ 西新ディサービス

福祉施設からのボランティア募集があります。

ディサービスの活動の中で、利用者の方々と交流するボランティアにアカベラグループが参加し、演奏したり、カラオケを一緒に楽しみました。



人間科学部 社会福祉学科 春田大貴

私は西新ディサービスセンターでアカベラボランティアをさせていただきました。自分が所属するアカベラグループでライブをして、その後は、利用者さんとカラオケをしました。見ず知らずの若者相手でも喜んでもらったのが特に印象に残っており今後も活動を続けたいと思っています。

#### ⑤ アットホーム博多の森

施設では、利用者の方々と一緒にイベントを企画され、受付や誘導、介護補助などを行うボランティアがあります。今回は、「もちつきボランティア」として、利用者の方々と一緒に楽しみました。



人間科学部 社会福祉学科 森永理紗

私はもちをつくときの手拍子と掛け声を出すなどその場の雰囲気を作る係でした。安全面に気を付けながらも周囲の人たちが楽しむことも大事なお話があったので、私も利用者の方ともちを丸めながらお話をし、みなさんと楽しく参加させていただきました。

#### ⑥ 難病交流会

団体の企画するイベントで、受付や設営などのボランティアがあります。

今回は、難病をもつ方々の交流会イベントで、受付や設営などを手伝う活動をしました。

イベントを手伝う中で社会問題に取り組むことができます。



人間科学部 社会福祉学科 永田眞善

難病交流会に参加されていた皆さんは「難病があっても暮らしやすい社会に変えていきたい!」とのバイタリティーのある方々ばかりで刺激的でした。ボランティアを通して、難病のある方を取り巻く社会の厳しさを知り、この身近な場所で困っている方のために、何か自分も力になりたい!との気持ちが高まりました。

#### ⑦ 障害者週間

行政が実施するイベントのボランティア募集もあります。

福岡市が実施した「障害者週間記念の集い」に参加し、行政と関わって活動しました。



経済学部 経済学科 田中湧樹

福岡市役所で12月に行われた障害者週間記念の集いのボランティアでは、広告配り、カウンター後片付け等のお手伝いをさせていただきました。様々な価値観をもつ方との交流を通じ、自身を見つめ直し、コミュニケーション能力の向上を図る良き契機になったと思います。

## ⑧ ビッグイシュー

ホームレス支援のひとつに「ビッグイシュー」の活動があり、毎年、大学祭で、啓発活動を手伝うボランティアがあります。

サポーターとして、社会の中の弱い立場の方々にかかわることができます。



法学部 法律学科 吉鷹洋一

毎年、西南の大学祭で、「ビッグイシュー」という雑誌を知ってもらうため出店しています。私はサポーターズに所属し、さまざまな活動に参加していく中で、日ごろ見慣れている街並みを別の視点から捉えることができるようになりました。

## ⑨ チャリティサンタ

クリスマスの時期に、子どもたちに「夢」を届けるボランティア活動があります。

子どもの喜ぶ笑顔にパワーをもらい、東北や海外の子どもたちへの支援にもつながります。



経済学部 経済学科 畑中宏斗

私はチャリティーサンタという学外ボランティアに参加しています。サンタのような想いやりのある人が溢れる社会を目指して、クリスマスイブの夜にサンタに扮して子どもたちの元へと向かいます。その際に各ご家庭からチャリティー金を頂いて、東北や海外の貧しい子どもたちのための支援活動に使っています。子どもたちのとびっきりの笑顔に出会うことができ、支援活動にもつながる。ぜひ皆さんも参加してみてください。

## ⑩ このゆび

東北のことを忘れずに、自分の身近なコミュニティを大切に作る取り組みをしています。体を動かす活動だけでなく、「想いを語り合う」活動もあります。



法学部 法律学科 木原真希

何かやりたい。この思いは、ぜひ実行に移してほしいです。私は、東北の復興支援インターンに参加し、帰福後も自分に出来ることは何か、ということを探索しました。現在は、東北についての想いを語り合う場づくり、また、震災から見てきた社会問題について取り組んでいます。

## ⑨ 学生ボランティア団体助成

一般財団法人学生サポートセンターが主催する「学生ボランティア団体支援」に、ボランティア団体とびうめが選ばれ表彰されました。これは、学生のボランティア活動を社会参加の第一歩と位置付け、「自由な発想と行動力」によって、社会貢献を計画・実行している学生の団体を対象に、団体組織の活性化やネットワーク作りなどを経済的に支援し、社会貢献活動を応援するというものです。



## 学生グループ活動（サークル紹介）

本学には、サークルをはじめ、たくさんのボランティア団体があり、それぞれがテーマや目標を持って取り組んでいます。興味のある方は、ぜひ代表者へ連絡して、活動に参加してくださいね。

### (1) OPEN

活動日：週1日休み（毎週水曜日の日休み）  
活動場所：チャペルセンター  
代表者：酒井春太郎（人間科学部 心理学科）  
連絡先：s18aq090@seinan-gu.ac.jp



OPENとは…（ボランティアセンターの学生スタッフです^^）

O…Opportunity \*ボランティアの紹介を通じて出会いの“機会”を！\*

P…Peace \*ボランティアを通して“安らぎ”をみんなの心に！\*

E…Enjoy \*西南生が“エンジョイ”できる場作りをお手伝い！\*

N…Network \*人が“つながる”場所を作ります！\*

今までの活動：広報活動（三角柱、ポスター作り：ノートテイク・支援学校）他サークルのイベントのお手伝い、OPEN内での交流会、学外ボランティアの参加

今後の活動：ボランティアの企画、運営、OPEN内での交流会、企画、発案のためのマナビバ（最近のNewsや、気になる話題をシェアする学び場）他ボランティアサークルとの交流会

こんな人集まれ!!：ボランティアを企画・運営したい人、なんでもいいからボランティアしたい人、こんな活動がしたいけど手伝ってくれる人がいなくて困ってる人、他サークルとの掛け持ちOK!!



### (2) いと

活動日：不定期  
活動場所：1号館2階活動室  
代表者：松尾遠太郎（人間科学部 児童教育学科）  
連絡先：s17an055@seinan-gu.ac.jp

「いと」は、大学主催の東日本大震災ボランティアに参加した学生たちが、福岡でできる活動を始めようと2013年春に設立した団体です。「いと」とは、一つ一つの点の活

動をつなげて線にする、という意味が込められています。東日本大震災の支援活動として、街頭募金活動や、チャリティーイベントの参加、プレゼンテーションなど、活動幅は広く、これからは、東北だけでなく災害復興支援として、どんどん色々なことをやっていきます！定期的な活動はありません。イベントごとに各々が協力できる範囲で力を合わせる、というスタンスです。「こんなことやってみたいなあ」「こんなことできないかなあ」、と思っている皆さん！「いと」はそれを皆で実現していく場所です。ぜひ一緒に活動してみませんか？



### (3) Mits

活動日：毎週水曜日昼休み  
活動場所：1号館205教室  
代表者：釵物千夏（法学部 国際関係法学科）  
連絡先：s17am023@seinan-gu.ac.jp

「Mits」(みつ)は、大学主催の海外ボランティア・ワークキャンプ（フィリピン）に参加した学生たちが、帰国後もボランティア活動を継続するために立ち上げたボランティア・サークルです。現在は参加者だけでなく、Mitsの活動に関心がある学生も加えて、次の「3つ」のことを目的として活動しています。

① Learn: 国際問題（貧困、飢餓、差別など）を学んで理解を深めること。  
② Serve: 学んで理解したことを生かし、自らができることを考え行動すること。  
③ Grow: 行動した体験と学びを伝えることによって、さらに一人の人として成長すること。

活動は海外ボランティア・ワークキャンプで連携している日本国際飢餓対策機構と協力関係を結び、寄付金活動、団体の活動報告、里親支援などを学内・学外で行っています。日頃の活動としては、毎週水曜日に定例ミーティング及び勉強会を開催するとともに、世界の子どもたちへワクチンを届けるために、学内に回収容器を設置し、ペットボトルキャップ回収活動を行っています。

私たちMitsは常に貧困問題に関心を持ち、行動し、体験を活かし、それぞれが置かれた環境で、今出来ることから始めています。少しでも私たちの活動に興味のある方は一度体験に来てください。



### (4) Think&Act

活動日：毎週木曜日  
活動場所：代表者にお問い合わせください  
代表者：濱田優（国際文化学部 国際文化学科）  
連絡先：s17ar140@seinan-gu.ac.jp

Think&Actは、国際協力・国際交流を行う学生団体です。2012年の夏に海外ボランティアやインターンを経験したメンバーが、この体験を後輩にも受け継ぎたいという思いから2013年春に正式に団体として活動を始めました。2013年は国連ハビタットで募金箱に集められたコインを職員の方と一緒に国別に仕分けしたり、JICA九州国際センターを訪問し、JICAの概要や青年海外協力隊の体験談などを聞いたり、ワークキャンプを行いました。11月に行われる大学祭では、留学生と一緒にフレンチトーストを販売し、売り上げの一部を、台風発生により被害を受けたフィリピンへ寄付しました。その他留学生とのポーリング大会やクリスマスパーティーなどのイベントも沢山あり、楽しく活動を行っています。

（この部分は上記の長い文章の一部を重複して再入力したため、ここでは省略し、元の文章を参照してください）



## (5) 西南FIWC九州

活動日：不定期  
活動場所：代表者にお問合せください  
代表者：中村聡志（経済学部 経済学科）  
連絡先：s16ah205@seinan-gu.ac.jp

FIWC九州は、福岡を拠点にワークキャンプというボランティアの形で国際協力・国際交流を行う学生団体です。主に所属している大学は、九州大学、西南学院大学、福岡大学、などになります。

活動を行っている国は、日本・中国・フィリピンの3カ国で、長期休暇（春・夏）をつかって現地で活動します。現地調査から資金集め、インフラ整備などの活動を、自ら企画・運営できるのが学生だけで活動しているFIWC九州の特徴です。海外ボランティアしたいけど、、、と不安な学生の相談も受け付けますので、気軽にご連絡ください。



## (6) のびっこの会

活動日：第2・第4土曜日の午後  
活動場所：5号館  
代表者：大久保晋太（人間科学部 社会福祉学科）  
連絡先：s17ap120@seinan-gu.ac.jp

のびっこの会は障がいをもった子どもたちとその兄弟児と一緒に遊ぶサークルです。2008年度に国際ソロプチミスト福岡ー中央よりシグマソサイエティとして承認されました。

毎月第2・第4土曜日のお昼から主に5号館で活動しています。現在は50名以上の学生が在籍し、15名ほどの子どもたちと交流しています。

活動では工作をしたり、お菓子を作ったり、夏にはキャンプ、冬にはクリスマス会を行ったりします。活動内容の決定や準備などは学生たちですべて行い、そのために毎週火曜日の昼休みに学生で集まって話し合いをしています。

また、活動以外にも本屋での絵本の読み聞かせやNHKでのボランティアにも参加しています。興味がある方はぜひ見学に来てください！（^o^）



## (7) 学生YM(W)CA

活動日：毎週水曜日 15:15～  
活動場所：4号館410教室（部会）  
代表者：池田健太郎（経済学部 経済学科）  
連絡先：s17ah003@seinan-gu.ac.jp

私たち学生YM(W)CAは、5つの班に分かれてそれぞれのテーマに沿ったボランティアを行っています。小学生と一緒に近くの公民館で様々な体験をしたり、施設に

行って、障害者の子どもたちと遊んだり、また、たくさんの外国の子どもたちに勉強を教えたりしています。他にも、ユニセフ募金、地域清掃など幅広いボランティアをさせていただいています。ボランティアをして、たくさんの人と関われることで、人と触れ合うことの楽しさ、そしてボランティア自体の楽しさを学ぶことを目標とし、活動しています。



## (8) 西南ラブ・グリーン

活動日：不定期  
活動場所：福岡ヤフオク!ドーム・福岡市役所・西新商店街など  
代表者：吉武勇建（経済学部 国際経済学科）  
連絡先：s18ak016@seinan-gu.ac.jp

西南ラブ・グリーンは、eco活動・地域と商店街でのボランティア活動を行っています。

福岡工業大学、中村学園大学、九州大学、福岡女学院大学、福岡女子大学など他学校と

200名のネットワークを構築して、市役所などの行政や、企業、地域、商店街と連携して活動しています。福岡ソフトバンクホークスとのドームでのクリーンアップ活動、海岸清掃、SUN SET LIVE. という野外フェスや、大学祭でのゴミO推進活動、エコ食器・ゴミ分別ブース運営などのほか、学童保育施設の子どもたちへのボランティア活動や、地域商店街のお祭り運営・企画のボランティアも行っていきます。



## (9) ワークキャンプ部

活動日：毎週水曜日  
活動場所：西南会館5階  
代表者：蔵本美鈴（人間科学部 児童教育学科）  
連絡先：s17an085@seinan-gu.ac.jp

ワークキャンプ部は5大学合同（九州産業大学、九州大学、西日本短期大学、福岡女子大学、西南学院大学）のサークルで、5つの研究会に分かれてボランティア活

動をしています。活動内容は、各研究会でさまざまですが、主に施設に訪問して子どもたち、入所者の皆さんとふれ合ったり、在宅障がい者、施設の皆さんのお宅を訪問し、レクリエーションや、一緒に外出したりしています。他にも西南ワークキャンプ部では、高取にある「みどりのその」の利用者の方々と一緒にバザーのお手伝いなどもしています。これからもいろいろな人と出会い、喜びを共有していきたいです。



## (10) 手話サークル とびうめ

活動日：毎週水曜日 4時限目  
活動場所：1号館2階活動室またはチャペルセンター  
代表者：今田彩華（経済学部 経済学科）  
連絡先：s17ah115@seinan-gu.ac.jp

私たちは毎週水曜日4限に集まり、ご自身もろうあ者であり、手話の講義も担当していらっしゃる福田先生に教えていただきながら、手話やろうあ者の生活・文化な

どを学んでいます。学ぶ中で難しいこともありますが、毎週楽しく活動しています。NPO法人グランドワーク福岡が主催する「花のジョイントコンサート」というイベントに毎年参加し、昨年までは手話通訳を、今年はお時間をいただき手話で「世界に一つだけの花」を発表しました。また、手話検定も積極的に受験しています。難しいと思われるかもしれませんが、とても和気あいあいとした楽しく学べるサークルです！

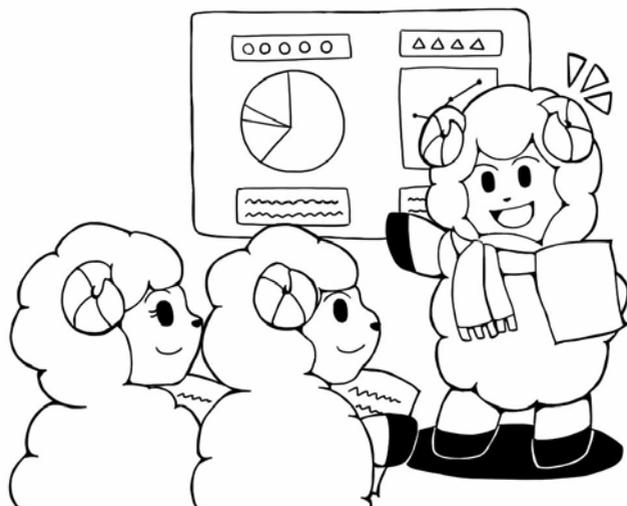


## (11) ノートテイクサークル

活動日：毎週水曜日昼休み  
活動場所：1号館2階活動室  
代表者：井上莉歩（人間科学部 社会福祉学科）  
連絡先：s16ap073@seinan-gu.ac.jp

ノートテイクとは視聴覚障がい者（弱視・肢体不自由・病弱・発達障害など）の方と共に講義を受け、先生の話される言葉を文字に起こすことです。私たちは毎週水

曜日に1号館2階の活動室を借りノートテイクのスキルアップやゲームを行い楽しく活動しています。実際に聴覚障がい学生と一緒に講義に入りノートテイクも行っています。2014年度はNPO法人の方からノートテイクに関する講義をしていただいたり、校内の他のサークルや、他大学のノートテイクサークルとの交流も予定しています。興味のある方は是非ご連絡ください！



## その他

### 印刷機・紙折機・裁断機の使用（無料）について

#### 利用できる団体

・学生課で「ボランティア団体」として公式に登録し、ボランティアセンターが許可した団体

#### 利用の手続き

印刷機・・・(用紙については各自で用意すること)

- ・ボラセンで、学生証と引き換えに印刷機利用カードを受取り、使用する。
- ・使用申込書に団体名、使用枚数を記入し、使用する。
- ・使用后、ボラセンで印刷機利用カードを返却し、学生証を受取る。

紙折機・裁断機

使用前・使用後に、ボラセンに団体名などを告げる。

### 活動室の利用について

#### 利用できる団体

- ・学生課で「ボランティア団体」として公式に登録し、ボランティアセンターが許可した団体
- ・団体設立に向けて検討中の場合は相談すること。

#### 利用の手続き

ボラセンで活動室の予約をする。

【利用可能な時間】

通常期間 月～金 9:00～17:00

※長期休暇中や行事などで閉室する場合があります。



### 社会福祉協議会(社協)

地域に暮らす高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が住み慣れた地域で、安心して住める福祉のまちづくりを目指しながら、地域の様々な福祉課題を解決していくために、社会福祉事業の企画・実施・ボランティア活動の推進、福祉関係者の連絡調整等を行っている団体です。また、全国、都道府県、政令指定都市、市町村にそれぞれ設置されています。

※「社会福祉協議会」は、長い名称なので、略して「社協(しゃきょう)」とも呼ばれています。



## ボランティア活動保険

ボランティア活動中や行き帰りにケガをした時、また活動先の物を壊したり、人にケガをさせた場合に補償をするのが「ボランティア活動保険」です。万が一の備えや安心して活動ができるよう、活動が始める前に加入されることをお勧めします。

※ボランティア保険は、自治体によってこととなりますが、主に300円前後の掛け金で、万が一の事故を補償してくれます。(加入日から当該年度の3月31日まで有効)



### 加入申込の手続き

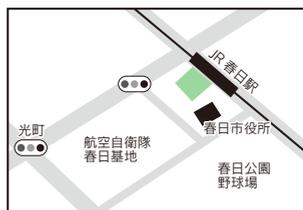
福岡市・各区の社会福祉協議会



1

### 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

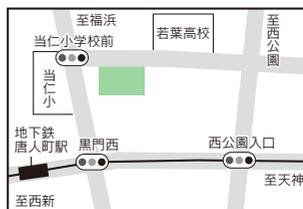
〒816-0804  
福岡県春日市原町3-1-7  
福岡県総合福祉センター (クローバープラザ)内  
t e l . 092-584-3377  
f a x . 092-584-3369・3381



2

### 社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 ボランティアセンター

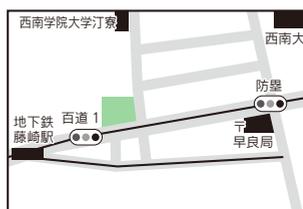
〒810-0062  
福岡市中央区荒戸3丁目3-39  
市民福祉プラザ2階  
t e l . 092-713-0777  
f a x . 092-713-0778



3

### 社会福祉法人福岡市早良区社会福祉協議会 早良区ボランティアセンター

〒814-0006  
福岡市早良区百道1-1-1  
UMIBE B.L.D 1階  
t e l . 092-832-7383  
f a x . 092-832-7382



## 2014年度ボランティアセンター活動記録（前期）

通年	東日本大震災ボランティア	海外ボランティア 国際交流	その他	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はるかのかのみわり絆プロジェクト【植替え】(4/25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年度海外ボランティア・ワークキャンプ事後オリエンテーション(4/9)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア募集合同説明会(学内6部署)(4/16・4/24)</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年度活動報告会(東北復興支援活動報告：春休み)(5/19)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市学生サポーター説明会(5/7)</li> <li>・アンケート協力</li> <li>・学生ボランティア団体説明会(5/22)</li> <li>・学生ボランティアミーティング【あずみん】(5/26)</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャペル報告(復興支援インターン)</li> <li>・第2回復興支援プロジェクト(6/28) *仮設住宅の方の作品を委託販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協力入門講座【FUNN】(6/4)</li> <li>・NGO合同説明会【FUNN】(6/11)</li> <li>・チャペル報告(6/12)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学間連携災害ボランティアネットワークに関する懇談【東北学院大学・福岡大学】(6/16)</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁当容器回収(被災地支援)</li> <li>・ボトトキヤク回収(7/7)</li> <li>・募集説明会(7/11)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学間連携災害ボランティアネットワークに関する打合せ【福岡大学】(7/24)</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付本回収(1-2貧困支援)</li> <li>・古切手回収</li> <li>・ハガキ回収</li> <li>・手芸用品回収(被災地支援)</li> <li>・マヒージカド(被災地支援)</li> <li>・義援金(被災地支援)</li> <li>・学生サポーター(学習支援他)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修会【大学間連携】(8/5)</li> <li>・事前研修会【Jバプテスト連盟】(8/7)</li> <li>・ボランティア派遣 人間科学部主催(8/1~8/5) 神学部主催(8/8~8/12) 岩手第1班(8/20~8/24) 宮城(8/29~9/2) 東北学院 雄勝第2クール(8/17~8/22) 東北学院 陸前高田第1クール(8/20~8/25) 東北学院 陸前高田第2クール(8/27~9/1)</li> <li>・復興支援インターン派遣 南三陸クール(8/24~8/31)</li> </ul>		
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア派遣 岩手第2班(9/10~9/14) *引継ぎ・チーム研修(9/8)</li> <li>・復興支援インターン派遣 石巻、女川クール(9/7~9/14) 気仙沼クール(9/14~9/21)</li> <li>・被災地へ手芸用品送付</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生スタッフセミナー *学生団体による参加(9/8~9/9)</li> <li>・大学生災害ボランティアサポーター養成講座(派遣：広島市被災地支援)【福岡県主催】</li> <li>・防犯教室【アンビジャス広場】(ボランティア団体による)</li> <li>・久山療育園開園祭ボランティア(9/23)</li> </ul>	

## 2014 年度ボランティアセンター活動記録（後期）

通 年	東日本大震災ボランティア	海外ボランティア 国際交流	その他	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャペル報告（中学校） （復興支援インターン）（10/7）</li> <li>チャペル報告（大学）（10/14・10/16）</li> <li>ボランティア派遣 岩手第3班（10/22～10/26） *引継ぎ会・チーム研修（10/6）</li> <li>被災地へ手芸用品送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地雷被害者ソピアアップさん 講演会 in 西南学院大学 （10/3） *西南ボランティア団体企画</li> <li>海外ボランティア・ワークショップ 説明会（10/31）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生サポーター後期募集 受付（10/8～10/10）</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島に西南水を届けよう！募金開始</li> <li>大学祭出店(学生ボランティア団体) （11/13～11/16） *仮設住宅の方の作品を委託販売 *復興庁の視察</li> <li>活動報告会（11/20）</li> <li>はるかのひまわり絆プロジェクト 【種取権】（11/21）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カボネア大運動会プロジェクト *事前に、赤白帽子、 文房具などの 寄付BOX設置 （ボランティア団体による）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生スタッフセミナー報告会 （11/12）</li> <li>北筑後地域アンビジャス 体験フェスティバル 【アンビジャス広場】（11/23） （ボランティア団体参加）</li> <li>ノートテイク講座（11/29）</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>弁当容器回収 （被災地支援）</li> <li>ボトムアップ回収 （ワケナ）</li> <li>寄付本回収 （ユニ貧困支援）</li> <li>古切手回収</li> <li>ハガキ回収</li> <li>手芸用品回収 （被災地支援）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興リアルドキュメンタリー映画 「僕らは11で生きていく」 （ボランティア団体協力）</li> <li>仮設住宅へクリスマスカードの送付</li> <li>被災地支援手芸用品の提供者へ クリスマスカードの送付 （ボランティア団体による）</li> <li>東北学院大学シンポジウム （12/12～12/13） *インター参加学生による発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外ボランティア・ワークショップ 事前研修会（12/17）</li> <li>カボネア大運動会プロジェクト *事前に、赤白帽子、 文房具などの 寄付BOX設置 （ボランティア団体による）</li> </ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>メトジカード （被災地支援）</li> <li>義援金 （被災地支援）</li> <li>西南水募金 （被災地支援）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥飼教会にて活動報告（1/11）</li> <li>『震災を忘れない』学内パネル展示 （1/23～2/2）</li> <li>春期復興支援インターン事前研修会 【大学間連携】（1/29・1/30）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外ボランティア・ワークショップ 事前研修会 （1/14・1/21）</li> <li>NGO合同説明会 【FUNN】（1/14）</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生ボランティア （学習支援他）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興支援インターン派遣 南三陸クール（2/15～2/21） 女川町クール（2/22～2/28）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外ボランティア・ワークショップ 事前研修会 （2/24・2/25）</li> <li>海外ボランティア・ワークショップ 派遣（2/26～3/9）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生スタッフリゲ-ゼミ-2015 （2/9～2/10）</li> <li>学生サポーター報告会（2/13）</li> <li>久山療養園チャリティコンサート （2/21）</li> <li>災害ボランティア実践講座 （2/28） 【福岡市社会福祉協議会】</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島へ西南水の送付（3/3）</li> <li>姪浜教会にて活動報告（3/8）</li> <li>復興支援インターン派遣 気仙沼クール（3/8～3/14）</li> <li>第3回国連防災世界会議HARUKA-15 「復興支援インターン」に関するセッション （3/18） *インター参加学生3名による発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外ボランティア・ワークショップ 派遣（2/26～3/9）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県・福岡市合同総合防災会議</li> </ul>	

2015年度 学院聖句

—イエスを見つめる Fix our eyes on Jesus—

信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。  
このイエスは、御自身の前にある喜びを捨て、恥を  
いとわないで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右に  
お座りになったのです。

ヘブライ人への手紙 12章2節（新共同訳）

## 西南学院大学 ボランティアガイドブック

2015(平成27)年4月

発行／西南学院大学 ボランティアセンター  
福岡市早良区西新6丁目2-92  
TEL 092-823-3662 FAX 092-823-3335  
E-mail : swvoc@seinan-gu.ac.jp  
URL : <http://www.seinan-gu.ac.jp/volunteer/>

編集／西南学院大学ボランティアセンター事務室

印刷／株式会社 キャンパスサポート西南  
SRプリンティングセンター



一粒の麦から、  
次の100年に向かって

